STEADY

スピンバイクPro
取扱説明書

組立て動画

YouTube

STEADY スピンバイクPro 組立て方法

安全にご使用いただくために

この取扱説明書は大切に保管してください。
この度は「スピンバイクPro」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

警告

1. 取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上でご使用ください。安全にご使用いただくために、本製品を組立てる際は取扱説明書に沿って組立て、本書に記載されている内容を守り、自己責任のもとでトレーニングを行ってください。本書記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用されて生じた、いかなる事故につきましても、弊社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 定期的に本製品の点検を行い、摩耗や損傷がないかご確認ください。
3. 安全のため、取扱説明書の指示内容を守ってご使用ください。本製品の組立て時および点検時に、部 品に異常が見つかった場合や、ご使用中に製品から異音が聞こえたら、直ちに使用を中断してください。これら異常について修理、改善されるまではご使用をお控えください。

安全上の注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、次に該当する場合は、使用前に必ず医師にご相談ください。 医師の治療を受けている方 / 安全な使用に支障をきたす可能性のある方 / 心拍数、血圧、コレステロール値に影響する投薬を受けている方 / 健康状態に異常を感じている方
2. 次のような症状が出た場合は、運動を中止し、医師にご相談ください。 体の痛み / 胸部の圧迫感 / 動悸 / 息切れ / めまい / 吐き気 / 小さなお子様やペットのいる場所でのトレーニングはお避けください。
3. 製品の仕様を理解した上で安全にご使用いただけない場合、事故や怪我を引き起こす可能性があるため、16歳未満の方は本製品の使用をお控えください。
4. 本製品の使用は健康な方を対象としています。治療目的としてのご使用には適しません。
5. 本製品の耐荷重は**最大150kg**です。
6. 本製品の連続使用時間は**最大120分**です。120分を経過した場合は、 使用と同程度の時間、製品を使用せずクールダウンの時間を設けてください。長時間の使用は製品の故障や劣化の原因となる可能性があります。

組立て前の注意事項

1. 組立ての際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも50cmの可動域が確保できる、水平な床の上に置くようにしてください。床の凹みや傷を防止するため、組立て時は床へマットなどを敷き、その上で作業してください。
2. 本製品の組立てや持ち運びの際に、製品に手や指を挟まないようご注意ください。
3. 本製品を持ち上げたり移動させたりする場合は、腰痛を引き起こす原因となる場合があるため、腰に負担がかからないよう重量物を取り扱う際の適切な姿勢や動作をしてください。
4. ご自分で分解、修理、改造を行わないでください。付属部品を外した状態でのご使用も、重大な事故の発生に繋がる恐れがありますのでおやめください。

ご使用前に必ずご確認ください

ご使用いただく前に、ガタつき、グラつき、軋み音がないかどうか必ず確認してください。不具合がある場合は、以下をご確認ください。
・いずれかのボルトやナットが緩んでいる場合があります。付属の工具を使用し、締め直してください。
・調節ノブが調節穴に噛み合っているか確認し、緩んでいる場合は時計回りに回して固定してください。
・各土台の左右に付属しているカバーをご確認ください。取り付けが緩んでいる場合、グラつきや不安定感などの原因となります。

製品の仕様

サドルの高さ調節	7段階	耐荷重	最大150kg
ハンドルの高さ調節	5段階	連続使用時間	最大120分
製品重量	約39kg		

お手入れ方法

長く本製品を愛用いただくためにも、日々のお手入れを心がけてください。

【本体】

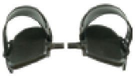
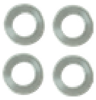
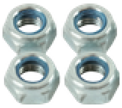
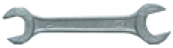
- 汚れやほこりは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めて拭き取ります。また、汗が付着したままの状態が続くと錆の原因になります。
- 使用後はペダル部分を含め、汗がかかった場合は拭き取るようにしてください。

【表示モニター】

- 汚れやほこりは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 直射日光が当たらない場所でご使用・保管してください。故障などの原因となります。

梱包部品一覧表

1. 梱包を開けましたら、組立てを行う前に各部品が揃っているかご確認ください。
2. 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。その際、下記部品名称をお知らせください（連絡先：P20）。
3. 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまでご使用をお控えください。
4. 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1.本体	2.土台後	3.土台前（車輪付き）	4.サドルチューブ
5.サドルポスト	6.サドル	7.ハンドルチューブ	8.ハンドル
9.表示モニター	10.ペダル（左・右） 	11.ペダルナット×2 ※	12.土台接続ボルト×4 ※
13.土台接続ワッシャー×4  ※	14.土台接続ナット×4 ※	15.高さ調節ノブ×2	16.サドル前後調節ノブ ※
17.サドル前後調整ワッシャー ※	18.ハンドル接続ナット×4  ※	19.スパナ(小)(13mm,15mm)	20.スパナ(大) (17mm,19mm) 

「※」はお届け時に部品に付属しています。

組立て手順

YouTubeに動画をご用意しています。QRコードを読み取るか、YouTubeで検索してご確認ください。
※右のサムネイル画像と同じ動画を選んでご視聴ください。

YouTube

STEADY スピンバイクPro 組立て方法

組立て動画

⚠ 組立て前にご確認ください

1. 床材の凹みや傷を防止するため、組立て時は床へマットなどを敷き、その上で作業してください。組立て後は水平で安定した床面の上に設置し、毛足の長いカーペットや不均一な表面に置かないでください。
2. **部品の一部は、本体や部品にあらかじめ取り付けられた状態でお届けしています。**
3. **一部部品において連結しにくい場合がありますが、組立て後の安定性とグラつきを防ぐための設計による仕様です。**組立てが難しいと感じられた場合は、誠にお手数ですが、STEADYカスタマーサポートへご連絡ください。スムーズな組立て方法をご案内させていただきます（連絡先：P20）。

STEP 01 土台を本体に取り付けます

STEP1で使用する部品リスト

「※」は部品に付属しています。

1. 本体 Ⓐ

2.土台後 Ⓑ

3.土台前（車輪付き） Ⓒ

12.土台接続ボルト Ⓓ ※

13.土台接続ワッシャー Ⓔ ※

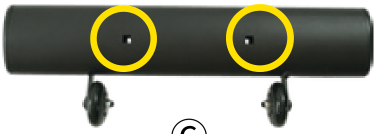
14.土台接続ナット Ⓕ ※

20.スパナ(大)（17mm・19mm） Ⓖ

1

Ⓑ土台後とⒸ土台前（車輪付き）にそれぞれに付属している、Ⓓ土台接続ボルト、 Ⓔ土台接続ワッシャー、Ⓕ土台接続ナットを取り外します。

Ⓑ



Ⓒ

2

Ⓐ 本体と Ⓑ 土台（後）の取り付け穴を合わせます。土台の下から Ⓓ土台接続ボルトを通します。上からⒺ土台接続ワッシャーⒻ土台接続ナットを取り付け、Ⓖスパナ(大) (17mm)で固定します。

⚠ 土台の取り付け時に、指を挟まないようご注意ください。

3

Ⓒ土台前（車輪付き）も同様に組立てます。

⚠ Ⓓ土台接続ボルトⒺ土台接続ワッシャーⒻ土台接続ナットが緩んでいると、異音やガタつきの原因となります。Ⓑ土台後Ⓒ土台前（車輪付き）ともにきつく固定してください。

4

水平アジャスターで最適な水平具合に調節可能です。高くしたい場合には右向きに、低くしたい場合には左向きに、Ⓖスパナ(大) (17mm)を使用し回します。

⚠ 水平アジャスターの高さは均一になるよう調節してください。高さが均一でない場合、製品のグラつきの原因となります。

STEP 02

サドルを取り付けます

STEP2で使用する部品リスト

「※」は部品に付属しています。

1. 本体 Ⓐ

4.サドルチューブ Ⓑ

5.サドルポスト Ⓒ

6.サドル Ⓓ

15. 高さ調節ノブ Ⓔ

16.サドル前後調節ノブ Ⓕ

17.サドル前後調整ワッシャー Ⓖ ※

19.スパナ(小)(13mm・15mm) Ⓗ

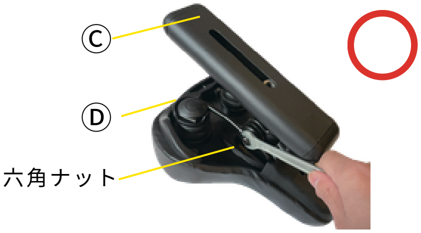
1

Ⓐ本体にⒺ高さ調節ノブを仮留めします。Ⓔ高さ調節ノブを引き、Ⓐ本体にⒷサドルチューブを挿し込みます。調節後、Ⓔ高さ調節ノブを時計回りに回し、動かなくなるまで締めます。

※**ご購入時期により、Ⓔ高さ調節ノブの形状やデザインが写真と異なる場合があります。**あらかじめご了承ください。なお、形状やデザインが異なる場合でも、組立てやご使用方法に影響はございませんので、案内に沿ってご利用いただけます。ご不明な点がございましたら、STEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください。

2

Ⓒサドルポストに⒟サドルを取り付けます。Ⓗスパナで左右均等に六角ナットを締め付けます。



- **サドルポストを取り付ける向きにご注意ください。**
- 六角ナットの締め付けは十分に行ってください。ガタつきの原因となり、事故に繋がる場合があります。

③

Ⓑサドルチューブにはカバーが付属しています。付けたままご使用ください。

カバーを外して使用すると、ガタつきの原因となります。

④

Ⓑサドルチューブに©サドルポストを取り付けます。Ⓕサドル前後調節ノブとⒼサドル前後調整ワッシャーを締めて固定します。

STEP 03 ハンドルを取り付けます

STEP3で使用する部品リスト

「※」は部品に付属しています。

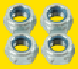
1. 本体 Ⓐ

7.ハンドルチューブ Ⓑ

8.ハンドル Ⓒ

15.高さ調節ノブ Ⓓ

18.ハンドル接続ナット Ⓔ



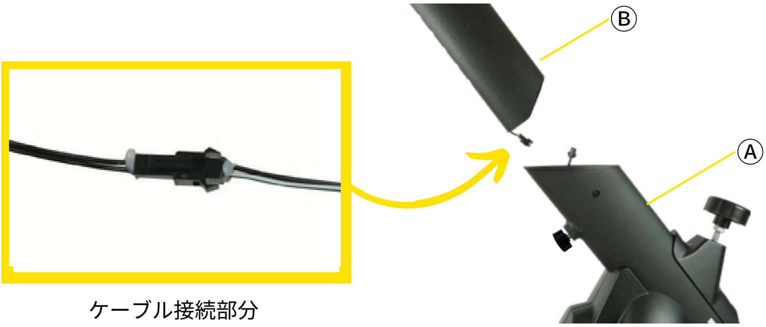
19.スパナ（小）（13mm・15mm） Ⓕ

1

Ⓓ高さ調節ノブをⒶ本体に仮留めします。

2

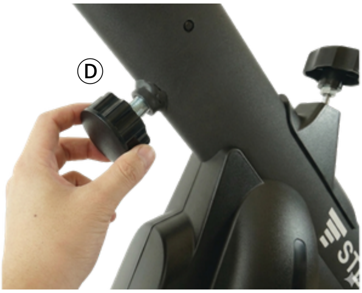
Ⓐ本体の上部とⒷ上部フレームの下部から出ているケーブルをそれぞれ引っ張り出します。絡まりがないか確認し、カチッと音がするまで挿し込み接続します。



ケーブル接続部分

3

Ⓓ高さ調節ノブを引っ張りながらⒷハンドルチューブをⒶ本体に挿し込みます。高さを調節後、Ⓓ高さ調整ノブを回して固定します。

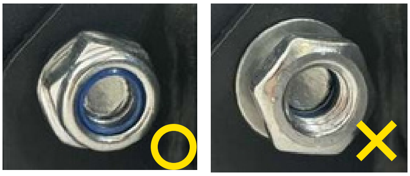


4

Ⓒハンドルに付属しているⒺハンドル接続ナットを取り外します。

5

Ⓒハンドルを Ⓑハンドルチューブの取り付け穴に合わせます。Ⓔハンドル接続ナットを樹脂の見える部分を床側にして挿し込み、Ⓕスパナ(小)(13mm)を使用し固定します。



⚠ ハンドル接続ナットは樹脂部分を外側にして挿し込み、樹脂が貫通するまで固定してください。
締め付けが十分でないと、ガタつきの原因になります。

STEP
04
表示モニターを取り付けます

STEP4で使用する部品リスト

8.ハンドル

Ⓐ

9.表示モニター

Ⓑ

1

Ⓑ表示モニター裏の電池カバーを外し、単三乾電池2本を入れます。正しく乾電池がセットされると、液晶画面に数値が表示されます。

2

Ⓐハンドルに Ⓑ表示モニターをスライドさせて固定します。

3

Ⓑ表示モニター裏面のケーブル挿し込み口にケーブルを接続します。本体部分から出ているケーブルは「SENSOR」へ、Ⓐハンドルから出ているケーブルは「PULSE」へは挿し込みます。ケーブルが長く余っている場合は、 本体部分とハンドルそれぞれの内側に入れ込んで収納してください。

ハンドルから出ている
ケーブルは
「**PULSE**」へ

本体部分から出ている
ケーブルは
「**SENSOR**」へ

⚠ ケーブルを正しく挿し込んでいない場合、モニターの表示不良の原因となります。

STEP
05

ペダルを取り付けます

STEP5で使用する部品リスト

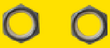
「※」は部品に付属しています。

1. 本体

Ⓐ

10.ペダル（左・右）

Ⓑ

11.ペダルナット

Ⓒ ※

19.スパナ（小）
（13mm・15mm）

Ⓓ

20.スパナ（大）
（17mm・19mm）

Ⓔ

1

Ⓐ本体、Ⓑペダル、Ⓑペダルに付属しているペダルベルトには 右「R」左「L」の表記があります。取り付け前にそれぞれ確認してください。

2

ペダルベルトを足の幅に合わせて調節します。ペダルベルトを取り外す際は、Ⓑペダルから強く引きさげ、取り付ける際は、ペダルベルトの穴をⒷペダルのフックに下から掛け、上に引き上げるように強く引っ張って固定します。内側・外側とも同様に取り付けます。

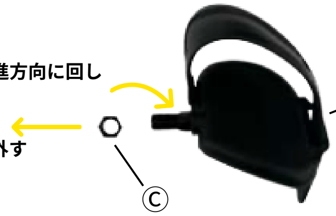
取り外し

取り付け

⚠ ペダルベルトは、安全性を考慮した構造上、新品時には硬く、調整しにくく感じられる場合がありますが、不具合ではありません。ご使用に伴い徐々になじむため、安心してご使用ください。

3

Ⓑペダルに付属しているⓒペダルナットを**回転方向を確認して**回して取り外します。



⚠ ⓒペダルナットを取り外す際は、必ず回転方向をご確認ください。**バイクに乗る向きを基準**に、**前進方向**に回すと緩みます。逆方向に回すと固くなり、取り外せなくなるおそれがあります。

4

Ⓐ本体にⒷペダルを取り付けます。**取り付け前に、必ずラベルに記載の回転方向を確認してください。**
Ⓐ本体にⒷペダルを挿し込み、Ⓑペダル側のナットをⒹスパナ(小)(15mm)で**バイクに乗る向きを基準**に、**前進方向**に止まるまで回します。次に③で取り外したⓒペダルナットを接続します。Ⓑペダル側のナットをⒹスパナ(小)(15mm)で固定しながら、ⓒペダルナットをⒺスパナ(大)(19mm)で**後進方向**に回して固定します。

⚠
- Ⓑペダルは地面と平行の状態で本体に挿し込んでください。平行でない場合、クランク部分が摩耗し、Ⓑペダルの抜け落ち、連結不良、異音の原因となります。
- Ⓑペダルは回転しなくなるまで十分に固定してください。緩みがあるとガタつきや異音が発生する原因となります。
- **Ⓑペダルは長時間の使用や強い踏み込みによって緩む場合があります。**ご使用前に緩みが無いか確認し、定期的に締め直してください。

STEP 06

サドルとハンドルを調整します

サドルの高さ

ペダルを漕いでペダルが一番下にきた際に、膝が完全に伸びきる手前の高さにします。

サドルの前後位置

片手でサドル前後調整ノブを回して緩め、もう片方の手でサドルを前後に移動させます。ハンドルを握る位置(脈拍センサー)に合わせ、肘が少し曲がる距離感でサドルを前後させます。必要な位置まで調整した後、サドル前後調整ノブをきつく締め直します。

サドルの角度

サドルに付属している六角ナットを緩め、サドルの角度を調整します。調整後、六角ナットをきつく締め直します。

ハンドルの高さ

自身の身長やサイクリングの経験値に合わせて、ハンドルを適切な高さにします。

初心者の場合

ハンドルの位置はサドルよりもやや高め調整します

経験者の場合

ハンドルとサドルの高さを同じ高さにするか、ハンドルがサドルに対してやや低めに調整します。

負荷調節

「スピンバイクPro」は磁気抵抗･非接触タイプを使用しており、無段階負荷調整となっています。「+」(時計回り)に回すと抵抗が大きくなり、「一」(反時計回り)に回すと抵抗が小さくなります。スプリングが通常の状態に戻ると、最小負荷となります。

> ⚠ **「+」(時計回り)に回しすぎず、最大負荷の状態で使用しないでください。**ブレーキラバーがフライホイールに触れ、異音の原因となります。
> その際は「一」(反時計回り)に回し、負荷を軽くしてください。

運転中の停止方法

運動中に停止したい場合には、画像のように負荷調整ノブを押しブレーキをかけてください。

> ⚠ 必要以上にブレーキをかけると、本体内部のブレーキラバーが摩耗して薄くなります。**抵抗を高める目的ではブレーキしないでください。**
>
> ⚠ 高速で走行すると、フライホイールの回転はすぐに停止できません。脚の力でフライホイールを止めようとせず、適度にブレーキをかけながら停止してください。フライホイールが完全に停止するまで、バイクを降りないでください。

移動方法

ハンドル先端部分を握り床に向かって押し下げ、土台前に付いている車輪が床に接触した状態で移動させることができます。

> ⚠ 柔らかい素材のキャスターを使用しておりますが、
> 床の素材によっては傷が付く可能性があります。
> 床への傷対策を行なってください。

モニター使用方法

- YouTubeに解説動画をご用意しています。QRコードを読み取るか、YouTubeで検索してご確認ください。

YouTube　STEADY スピンバイクPro 表示モニターの使用方法

- 本製品のモニターは単3電池を2本使用します。モニター裏面の電池蓋を開けて電池を入れてください。
- **モニターに小傷が見られる場合、お届け時にモニターに貼られている保護シールが傷ついている場合があります。**剥がしてからご使用ください。

表示と機能

- **「SCAN」が表示されている時**
  各項目を「1TIME」「2 DISTANCE」「3 CALORIES」「4 PULSE」「5 RPM」「6 SPEED」の順にモニター最上部に繰り返し表示します。「5 RPM」「6 SPEED」はモニター右下で交互に表示します。

- **「SCAN」が表示されていない時**
  MODEボタンで選択した任意の項目を、モニター最上部に固定して表示することができます。

モニター最上部　「1 TIME、 2 DISTANCE, 3 CALORIES, 4PULSE、5RPM、6 SPEED」の順に表示します。

TIME / 時間　分：秒

運動経過時間を表示します。

DISTANCE / 走行距離　km

走行距離を表示します。

CALORIES / カロリー　kcal

運動中の消費カロリーを表示します。同じ運動をしても個人差によって表示されるカロリーは異なります。表示されるカロリーはあくまで一般的な目安としてください。

PULSE / 心拍数　拍 / 分

1分間の心拍数を表示します。正確な計測のためには、グリップセンサーを両手で握り、30秒以上経ってから表示をご確認ください。
ペダルを漕ぐのを止め、モニターに信号が流れなくなると、モニター最上部に「/」がPの文字上に重ねられた記号が表示されます。

SPEED / スピード　km/h

運動中の速度を表示します。

使用開始と停止

- ボタンのいずれかを押す、または運動を始めると自動的に表示を開始します。
- ボタンのいずれも押されないか、運動を中止して4分が経過すると自動的に表示が消えます。

リセット

- 電池を交換した際、または長押し(3秒以上)で現在の表示項目がすべてリセットされます。
- 特定の項目だけをリセットすることはできません。

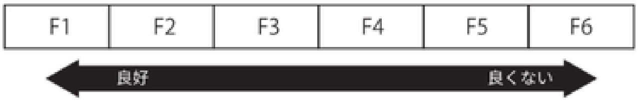
時間、走行距離、心拍数、カロリーの目標値設定

- MODE ボタンを押し、SCAN の表示が消えたことを確認後、目標値設定をしたい項目まで MODE ボタンを押します。※SCAN モード中は目標値の設定ができません。
- SET ボタンを押して目標値を入力します。(SETボタンを長押しすることで早送りできます。)
- MODE ボタンを押し「TIME」まで一巡するとSCANモードになります。
- ペダルを漕いでいる時は、SET ボタンを押しても数値を設定できません。ペダルが停止している状態で設定してください。
- 運動を開始してから、あらかじめ入力した目標値に達するとアラームが鳴り、再度0カウントから加算されます。
- 目標値設定を行わないで運動を開始すると数値が自動でカウントされます。

RECOVERY(リカバリー脈拍数回復簡易測定)

トレーニング後のクールダウンにご活用ください。

1. ハンドルに付属の脈拍センサーを握りRECOVERYボタンを押すと、画面に60(秒)が表示されます。
2. 0になるまで脈拍センサーを握ります。1分間の測定が始まります。
3. 数字が0になった後、脈拍機能のレベルがF1〜F6まで表示されます。(F1が最も良好、F6が最も良くない)



※この数値はあくまでも目安の簡易測定となります。身体の健康状態を判断するものではありません。

Bluetooth接続

本製品はKinomap、Zwiftと接続できます。Bluetooth名は「STEADY」です。

接続方法

1. アプリをデバイスにダウンロードし、アカウントを登録します。
2. バイクとアプリを接続する前に、デバイスのBluetoothがオンになっており、他の機器がBluetooth接続されていないことをご確認ください。
3. アプリを起動し、操作画面に従ってバイクと接続してください。

Kinomap

1. アカウントにログインします。
2. 「もっと表示する」のページで「器具の管理」に進みます。ページ右上の「+」ボタンを押し、新しい器具を選択します。
3. マイマシーンの選択画面で「エクササイズバイク」の画像を選択します。
4. 「マイエクササイズバイク」のブランド選択画面で、最下部の「SENSORS」を選択します。「マイエクササイズバイク」の画面で「インテラクティブ」の「FTMS」を選択します。
5. バイクを漕ぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。

zwift

1. アカウントにログインします。
2. デバイス選択画面で「ライド」を選択し、「パワーソース」を選択します。
3. バイクを漕ぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。
4. 「ライド」内の「ケイデンスセンサー」も同様に接続します。「パワーソース」「ケイデンスセンサー」以外の機能はBluetooth接続ができません。ご了承ください。

Bluetoothが接続できない場合

1. ネットワークの状態が正常であることを確認してください。
2. Bluetoothのサーチ中にバイクを漕いでいるか確認してください。
3. バイクは複数の機器に同時接続できません。他のデバイスがバイクに接続されていないことを確認してください。
4. スマートフォンの設定からのBluetooth検索は無効です。アプリ内で「STEADY」を検索し、接続してください。
5. デバイスの再起動をお試しください。
6. 上記の方法で解決できない場合は、センサーの故障の可能性があります。STEADYカスタマーサポートにお問い合わせください。

よくあるご質問・トラブルシューティング

部品が見つからない	一部部品はお届け時にあらかじめ部品に付属しています（参考P3）。
部品同士が連結できない	組立て後の安定性とグラつきを防ぐための設計により、一部の部品において連結しにくい場合があります。組立てが難しいと感じられた場合はSTEADYカスタマーサポートへご連絡ください。スムーズな組立て方法をご案内させていただきます（参考：P20）。
サドルに凹みがついている	サドルは柔らかい素材を使用しているため、配送中に凹みや皺がつくことがあります。時間の経過とともに解消されますので、ご安心の上、ご使用ください。
ペダルの取り付けができない	以下をご参考ください（参考：P12）。 • ペダル用ナットをペダルから取り外す際は、必ずラベルに記載の回転方向を確認してください。逆方向に回すとさらに固着し、取り外せなくなります。 • ペダルは地面と平行となる状態にして取り付けてください。平行でない場合、クランク部分が摩耗し、ペダルの抜け落ち、連結不良、異音の原因となります。
モニターの小傷	お届け時にモニターに貼られている保護シールが傷ついている場合があります。剥がしてからご使用ください（参考：P15）。
モニターの表示不良 異音	以下をお試しください。 • 本体上部から伸びるケーブルと、上部フレームのケーブルが確実に接続できているかご確認ください（参考：P8）。 • 各ケーブルがモニター裏面に正しく接続できているかご確認ください（参考：P10）。 • モニターの電池交換をお試しください（参考：P15）。
モニターに表示される数値が不正確	本製品は医療機器ではないため、実際の数値とモニターの数値とで差異が発生する場合があることをあらかじめご了承ください。
Bluetoothが接続できない	ネットワークの状態やBluetoothの検索方法に原因がある場合があります。参考ページの「Bluetoothが接続できない場合」をご確認ください(参考:P17)。

<table>
<tr><td rowspan="2">使用中に異音がする</td><td>製品が起動している間は、構造上 動作音が発生します。不具合ではありません。明らかに不具合と思われるような異音が発生している場合は、STEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください（参考：P20）。</td></tr>
<tr><td>以下をお試しください。
● ボルトやナットなどの各部品を、付属の工具を使用しきつく締め直してください。特に土台接続ボルトや土台接続ナットが緩んでいる場合は、異音だけでなくガタつきが発生する場合があります(参考:P5)。
● 負荷を軽くしてご使用ください。負荷が高すぎる場合、ブレーキラバーがフライホイールに触れ、異音の原因となります(参考:P14)。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グラつく、ガタつく
不安定に感じる
軋み音がする</td><td>本製品の設置場所をご確認ください。水平で安定した床面の上に設置し、毛足の長いカーペットや不均一な表面に置かないでください(参考:P4)。</td></tr>
<tr><td>● 全体が傾いている場合…土台のアジャスター部分を回し、高さを調節してください(参考:P5)。
● サドルがガタつく場合…高さ調整ノブ、サドル下の六角ナット、サドル前後調整ノブを締め直してください(参考:P6、P7)。
● ハンドルがガタつく場合…高さ調整ノブとハンドル接続ナットを締め直してください(参考:P9)。</td></tr>
<tr><td>ペダルを漕ぐと異音がする</td><td>ペダルは長時間の使用や強い踏み込みによって緩む場合があります。スパナを使用し、ペダルとペダルナットをきつく締め直してください(参考:P12)。</td></tr>
<tr><td>開封直後から製品に傷がついている</td><td>一部製品において、使用上問題がない程度の傷や塗装剥がれが見られることがあります。不良品ではありませんので、返品 / 交換の対象外となります。あらかじめご了承ください。</td></tr>
<tr><td>子どもが使用したい</td><td>製品の仕様を理解した上で安全にご使用いただけない場合、事故や怪我を引き起こす可能性があります。16歳未満の方は本製品の使用をお控えください(参考:P1)。</td></tr>
<tr><td>電話で問い合わせしたい</td><td>050-5369-0949までおかけください。受付時間は平日9:00〜17:00となります（参考：P20）。</td></tr>
</table>

カスタマーサポートへ連絡したい場合

ご不明点やご質問がございましたら、いつでもSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。

LINEでのお問い合わせ

”購入後ご相談“ をタップし、
お問い合わせ内容を入力してください。

お問い合わせフォームでのメール送信

お名前、メールアドレス等をご入力のうえ、
送信ボタンをクリックしてください。

STEADYカスタマーサポート連絡先＆営業時間

受付時間：平日 9:00〜17:00（土日祝日・お盆・年末年始を除く）
050-5369-0949 / support@steadyjapan.zendesk.com

※金曜17:00以降ならびに土日祝日に頂いたお問い合わせは、休業日明けの翌営業日より順次ご返信いたします。回答までお時間を頂戴いたしますが、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

保証期間

- ご購入日より365日間となります。公式LINEからご注文番号のご登録でよりスピーディーなサポートが可能です。
- 保証期間内に取扱説明書に従ってご使用になっていた場合、保証適用外の事項に該当しない場合は無償交換が可能です。
- 保証期間が過ぎた場合は、仕入れが可能な部品に限り有償にて部品交換させていただきます。

LINE公式アカウントに
友だち登録すると
\安心の1年保証!/

保証適用外の事項

- 取扱説明書に記載されている組立て方法、使用方法、保管方法、取り扱い方法以外のご使用により不具合や事故が発生した場合
- 仕様の範囲内と判断された場合（駆動音、製造過程で生じる気泡、折れ、細かな汚れ、輸送中の小傷や擦れなど）
- 輸送中に外箱や梱包材が破損した場合でも、製品に不具合が生じていない場合
- 中古品のご購入や公式サイト/公式販売モール以外でご購入した場合（有償での対応は可能）
- ご自身での修理や改造などが見受けられる場合
- 地震、火災、台風、落雷などの天災、薬品、酒、水、石、塩分など、外から受ける要因による不具合や事故が発生した場合
- 未開封、未使用に関わらず保証期間を過ぎた場合

STEADYカスタマーサポートへのお問い合わせ方法

- 不具合が疑われる場合や交換をご希望の場合はSTEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください（参考：P20）。
- お問い合わせの際には、不具合が疑われる箇所の画像もしくは動画を添付してください。

注意事項

- 製品の不具合などによりお客様に生じた機会損失や金銭的損害については弊社では責任を負いかねます。
- 保証期間内の製品で不具合と判断した場合は、基本的に部品交換の対応を取らせていただきます。出張サービスや業者手配による設置、組立て、解体、梱包、修理等は原則対応しておりません。

こんにちは。STEADYカスタマーサポートです。
お客様の声を元に、みなさまが笑顔に
なれるよう努めることが私たちの使命です。
これからも一緒に歩んでいけるように。
"STEADY応援係サポーター" 小島 一生

STEADY

© STEADY JAPAN, Inc. All Right Reserved.

ST142-BBT1_v00-00
ST142-WBT1_v00-00